

国際ロータリー第 2550 地区  
**黒磯ロータリークラブ会報**

国際ロータリー会長: ジェニファー E. ジョーンズ  
 第 2550 地区ガバナー: 佐貫直通  
 事務所: 〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15  
 ペルヴィ宇都宮内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



会長: 植竹一裕 幹事: 大島三千三  
 事務局: (有)大島商店 大島三千三  
 代表取締役 那須塩原市笹沼262  
 〒329-3155 那須塩原市笹沼262  
 TEL: 0287-65-0863 FAX: 0287-65-3381  
 E-mail: 3003@mvp.biglobe.ne.jp  
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2981回 植竹年度第17回例会会報 2022-12-14 司会 田中徹君

**2021-2022年度  
 第2550地区大会表彰**

- 長寿会員表彰  
 檜山達郎君、相馬征志君、鳥居輝一君



- 40年100%皆出席会員  
 佐藤博君
- 35年100%皆出席会員  
 黒澤洋一君

ロータリー財団年次寄付  
 地区目標達成クラブ100%以上達成

出席報告 黒澤洋一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 12月14日	35(8)	30(5)	5(3)	93.8%	—	—
前回 12月7日	35(8)	28(6)	7(2)	84.8%	3	93.9%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
 メール [aavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp](mailto:aavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp)

## 会長挨拶 植竹一裕会長



12月14日は、ご存じの赤穂浪士の討ち入りの日です。毎年の事ではありますが話題になります。

今週の月曜日にBS TBSで「歴史鑑定」という番組でも取り上げられていました。

事件のあらましは、ちょうど朝廷からの使者を接待している最中に殿中松の廊下で浅野内匠頭が吉良上野介に対して刃傷に及び、將軍綱吉の逆鱗に触れて即日切腹、上野介はお咎めなしとなった事件に端を発し、赤穂藩は取り潰しとなりました。大石内蔵助を中心に内匠頭の弟大学を以て藩の再興を願いましたが、それも叶わず47名の浪士で吉良邸に討ち入り、主君の仇を取って本懐を遂げたお話です。この事件が今でも大きな話題になるのは、その当時(元禄時代)にこの事件を題材にした「仮名手本忠臣蔵」という人形浄瑠璃が大阪で爆発的な人気を博し、歌舞伎にリメイクされて庶民の間で大流行したそうです。「忠臣蔵」の「蔵」の字は大石内蔵助の「蔵」に掛けているといわれ、「かな」は47文字ですから四十七士と掛けているとも言われます。

では、何故現在に至るまでこの討ち入りが連綿と日本人の話題になるのでしょうか？

色々な要因があると思いますが、四十七士の主君に対する忠誠心というより、將軍綱吉の喧嘩両成敗であるはずの裁定が一方的な片手落ちの切腹とそれに対してお咎めなしだった事、浅野家再興を許さない処分等、一般大衆がこの理不尽な裁定を現実の生活に置き換えたのではないのでしょうか？いわゆる判官贔屓的要素の部分と、赤穂浪士が直面した悲喜こもごもの話だからこそ庶民が共感し、感情移入が強いような気がします。

一方、悪役に仕立て上げられた吉良上野介は、地元三河国(愛知県西尾市吉良町)では現在も名君として慕われています。元々吉良家は徳川も及ばないほど足利氏の流れを組む名門でした。おそらく名門である事を鼻にかけて横柄だったのかもしれませんが、領地経営については自ら領地を巡回し領民の話をよく

聞いて治水や灌漑の工事を行っていたそうです。彼の邸跡には上野介を神として祀った稲荷神社が今でもあります。

それに対して内匠頭は7歳の時に藩主となり藩の運営を家老たちに任せざるを得ない状態で育った事も要因のひとつですが、短気で癪癪持ちと言われています。藩の財政難を建て直す為に領民に重税を課していたとも言われています。藩を幕府に明け渡す時に領民が赤飯を炊いて祝ったという記録も残っています。

そもそも刃傷事件の原因も具体的に内匠頭は何一つ語らずに切腹しています。上野介も理由が不明と幕府に応えています。おそらく、儀礼に対する認識不足からくる内匠頭の不手際でしょうし、背景には藩の収入源のひとつである塩田開発も影響しているように思います。赤穂藩も三河藩も塩田開発が藩の大切な収入源のひとつでしたから。様々な諍いが原因ではないかと云われます。単に一方的に上野介への遺恨が原因とは言えないようです。しかし、藩主の立場で家臣の家族を顧みないで刃傷に及ぶのは、疑問を感じることもあります。

他にも、赤穂浅野家は尊王の精神を培っていた家系です。大石内蔵助の山鹿流太鼓で有名な山鹿素行の精神は、幕末の吉田松陰の松下村塾に繋がります。松下村塾は元々山鹿流の師範所でした。それに対する吉良家は「高家」という礼儀作法に精通し、幕府と朝廷の勅使が接見する時に上座の設定、料理を出す順番などを指示する係で、その立場から幕府を擁護し、朝廷に圧力を掛ける係でもありました。元禄時代に明治維新の勤王と幕府の争いを先んじていたのかもしれませんが。

我々の殆どが知っている四十七士の事件も探求してみると思いがけない方向に事実がありそうです。一方的に上野介が悪人とされているのも悲しいお話の様な気がしてなりません。

やはり物事は一面ではなく多面で見ることが必要と感じた次第です。


## 幹事報告 大島三千三幹事



1. 第8回理事役員会の議事録を皆様にメールいたしました。
2. 12月11日（日曜日）地区大会14名出席で参加して参りました。



地区大会 大ホール前にて

 **委員会報告 藤崎善隆副会長**



○ **広報委員会 高木慶一委員長**



デジタルフォトコンテストの投票が今日12月14日から21日までの1週間行われます。会員1名につき3点まで投票できます。作品番号と題名を書いて投票して下さい。投票はメールで高木慶一

[step2001@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:step2001@galaxy.ocn.ne.jp)

までお願いします。

○ **親睦委員会 浜木大治委員**




来週12/21のクリスマス家族会はロイヤルホテル那須にて、点鐘18:30家族会19:00から開催です。只今約70名様参加となっております。送迎バスは石山駐車場から17:50発ですので、ご利用の場合はお時間に間に合うようにお越しください。  
また、1/11の新年会の出欠も本日取らせていただいております。新年会会場はこちら割烹石山です。よろしくお願いいたします。

 **ニコニコボックス 吉光寺政雄委員**



- 植竹一裕君 2週間連続でZOOM参加で迷惑おかけしました。
- 澤田吉夫君 地区大会参加出来ず申し訳ありません。
- 藤崎善隆君 地区大会おつかれ様でした。
- 吉光寺政雄君 本年お世話になりました。来年も宜しくお願いします。
- 瀧田雅仁君 宜しくお願いします。

 **2022-2023年度・年次総会(前回の続き) 次年度三役挨拶**

○ **会長エレクト 稲垣政一君**

先週の年次総会におきまして、皆様に次年度会長就任の承認を頂き感謝申し上げます。また、去る11月9日に開催されました理事



役員指名委員会に置きまして、委員の皆様  
に次期理事役員候補の承認を頂きました。この  
場をお借りしまして感謝申し上げます。

次年度方針については、例年、年明けに開  
催されるペッツや今後のコロナの感染状況を  
踏まえ検討していきたいと思っております。ただ一  
時期最大で69名あった会員数が現在では35名  
と半減していることから、会員増強は、次年  
度担当委員会のみならず会員全員で取り組む  
べき喫緊の課題であると考えております。

黒磯ロータリークラブは今年4月に60周年記  
念式典を開催しました。この長きにわたる当  
クラブの伝統と実績を再確認し、途絶えるこ  
となく未来へつなげていきたいと思ってお  
ります。そして会員の親睦を深め、皆様とと  
もに様々な奉仕活動に努めてまいりたいと考  
えております。今後ともご支援ご協力よろしく  
お願い申し上げます。

## ○ 次年度副会長

**安藤譲治君(クラブ奉仕委員長兼務)**



こんにちは。

この度、副会長兼クラブ奉仕委員長を仰せ  
つかりました安藤です。

いまだに新型コロナは収束していません  
が、感染対策に気をつけた上でウイズコロ  
ナの時代になったのではないのでしょうか？

稲垣会長の方針の下で、クラブ奉仕各委員  
会の連携のため努力し、会長をお支えしたい

と思います。

浅学非才の身ではございますが、皆さまの  
ご協力を頂き頑張っておりますので宜しくお  
願い申し上げます。

## ○ 次年度幹事 井出法君



稲垣年度幹事に選出されました井出でござ  
います。

幹事という重責を担うことになり、大変緊  
張しておりますが、次期稲垣会長の方針・計  
画がスムーズに進むよう、そしてクラブが円  
滑に運営できるよう、頑張っております。

今後とも皆様のご指導やご協力等のお願い申  
し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## ○ 会長ノミニ 藤崎善隆君



この度、次年度会長エレクト、会長ノミ  
ニー選出の件につきご承認頂きました、藤崎  
でございます。未だ入会7年目ということで、  
まだまだ経験不足でございます。次年度一年  
間、稲垣会長の方針・計画の実行実現のため  
に邁進すると共に、先輩方のご指導を仰ぎつ  
つ自己研鑽に励む所存でございます。ご指導  
ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## ◎ 卓話 クラブフォーラム

### ○ 藤崎善隆クラブ奉仕委員長

植竹年度も早半年を過ぎようとしておりま

す。クラブ奉仕各委員会の皆さまには、年初の計画に基づき、円滑なるクラブ運営のためご尽力頂き改めて御礼を申し上げる次第であります。クラブ奉仕委員会と致しましては、植竹一裕会長の方針の下に、

1. 例会の更なる充実
2. 会員相互の親睦を深める
3. 会員増強
4. 広報活動の充実
5. 奉仕活動の再検索

5項目を掲げました。

例会につきましては、本日年度17回目の例会となりますがそのうち5回の外来卓話が行われており、その他にガバナー公式訪問・ガバナー補佐訪問なども行われておりますので、様々な知見に触れることのできる充実した例会が実現しているものと考えております。今後とも担当委員会の皆さまには工夫を凝らした例会として頂ければと願うところでございます。

親睦に関しましては、特に親睦委員会の皆さまにはコロナ禍の中にもかかわらず、大変努力頂いております。10月の観月会では石山さんのロービーを会場に寿し春さんの出張お寿司というこれまでにない企画を実現していただきました。留学生のヘイデン君も含め会員の皆さまも新鮮な雰囲気を楽しみ懇親を深められたのではないのでしょうか。コロナの状況を見極めながら今後とも創意工夫をこらし、より親睦を深められればと思います。

会員増強につきましては7月1日比で2名の増強を実現しておりますが、更なる増強に向けてご協力をお願いする次第です。

広報活動につきましては、高木広報委員長によりホームページの充実などによる情報発信を行って頂いております。また那須塩原駅前の源頼朝像（35周年記念）が下野新聞に掲載された折にも取材にご対応頂いております。

奉仕活動の再検索につきましては、コロナ禍の制約の中で具体的には進んでいないところではございますが、各委員会にて創意工夫をこらしながら今後のクラブ奉仕のあり方について模索を続けて参ります。

さて、クラブ奉仕委員長の立場で申し上げるのが適切かどうかは必ずしも自信があるわけではございませんが、秋間会報委員長さまに作成頂いた「救食オンライン」アプリに関連して申し上げたいと存じます。コロナ禍における新しい例会の試みとして、当初よりハイブリッド例会を行い定着して参りました。当然のことながら対面を基本としつつも、どうしても都合が合わない場合などにオンラインの活用にて例会が行われることは、今後の会員増強などを見越してもとても重要なことであると考えます。加えて先に申し上げた

「救食オンライン」アプリの活用により、出欠と食事の有無が一元的に管理できるようになると、食品のロスを防ぐ為に非常に有用であると思います。「食事代を出している」ということではなく、全世界的な視点で食事の無駄を少しでも少なくしていくということも、大切な奉仕活動であるという認識を持つべきだと考えます。これは個人的な思いではございますが、せっかく作成頂いたアプリの活用を会員の皆さままでご検討頂き、会員の皆さまがスマートフォンから出欠や食事の要不要を連絡できるようにすることで、少しでも食品ロス防止のために貢献できるかと思っておりますので、ご検討頂きたくご提案申し上げます。

余計なことも申し上げましたが、あと半期の活動チャンスがございます。今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

## ○ 吉光寺政雄職業奉仕委員長

職業奉仕委員長の吉光寺でございます。

本年度職業奉仕委員会は、副委員長に和気さん、委員に永山さん、私の3名で活動して参ります。計画としましては、3つございます。

1. 新入会員へ「四つのテスト」を配布します  
7月の例会で、新入会員の金澤様、浜木様に植竹会長から四つのテストをお渡ししました。今後新入会員の入会の際は、四つのテストを配布します。
2. 会員手帳を配布します  
会員手帳は皆様のレターボックスに配布させて頂きました。
3. 職業奉仕月間に企業見学を実施致します  
年当初は職場訪問を計画していましたが、感染症の状況から団体行動は控えた方が良くかと思ひ、地区職業奉仕委員長の片柳様を1月18日の例会にお迎えすることになりました。

引き続き皆様にはご理解ご協力を頂きますようお願い致します。

## ○ 鳥居輝一社会奉仕委員長

皆さん改めましてこんにちは、植竹年度の社会奉仕委員会の委員長を務めさせていただいている鳥居です。委員会のメンバーは副委員長に田中徹会員委員に佐藤博会員の3名で活動しております。

上半期の活動ですが、いまだ新型コロナウイルス感染症が終息しない中、行政関係等の行事が取りやめとなっている現状で、これまでに実行した事項は10月19日の担当卓話で「(株)那須環境技術センター」の環境調査部部長高根澤和之様と環境調査部分析一課主任船山一也様にお越し頂き、黒磯ロータリー



の継続事業になっている「那珂川水質検査」の分析結果の推移をお願いいたしました。今年で検査依頼をして15年となり、これまでの環境の推移をお話いただきました。

次は、11月19日（土）には、那須塩原市「第18回那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会」への後援を行い、当日は植竹会長の代理として稲垣会長エレクトにご出席を頂きスターターを務めていただきました。

それと加えて重要な案件が継続中です。

それは、マスクの寄贈先になります。理事役員会での決定事項は「平等に寄贈しましょう」となり、那須塩原市の窓口は「コロナ対策室」・那須町は「社会福祉協議会」で決定しました。

そこで事前に訪問する約束を取り付けるために、連絡をとりました。結果、那須塩原市は面談をしましたが、マスクは緊急用を含め備蓄が多々あり、保管場所もいっぱいですと言われました。またコロナ対策室から聞いて頂きました、教育委員会関係も同様でした。また那須町は面談の前に「お気持ちだけ頂きます」と電話口で、丁寧にお断りされ、結果、寄贈出来ませんでした。

そこで、社会奉仕委員会だけでなく会員の皆様と共に寄贈を受けていただく団体や会社をピックアップして黒磯ロータリークラブ全体で働き掛けをしましょう。（マスクは10万6千枚）

さて、下半期の活動予定として、各種ボランティア団体の活動資金援助（那須山岳救助隊、那須保護区保護司会、ボーイ・ガールズスカウト、子ども食堂等）、足尾の植樹の参加、那珂川水質調査の実施になります。

特に植竹年度の那珂川水質調査は三斗小屋に一泊で水の採取を行います。会員はもとより家族の皆様も大歓迎です。大勢の参加をお待ちしております。予定日として、令和5年5月第3週土曜日を考えております。

結びになりますが、コロナ禍の状況を勘案しながら行政関係等から要請がありましたら、地域社会に貢献するよう努めてまいります。以上になります。

## ○ 澤田吉夫国際奉仕委員長



本日急なご指名で、何も原稿等は用意してございませんが、先頃の例会にて発表いたしました、ロータリー国際大会の参加について再度お知らせいたします。

来年2023年5月27日～31日までの間 オーストラリアのメルボルンにて開催されますので、ぜひ参加してみてください。詳細等についてはロータリーの友12月号をご覧ください。

国際奉仕委員会の計画目標であります、コロナ禍の感染状況等を、見ながら奉仕活動などをするとする事ですが、今のところ難しい状況にあるかと思われまます。又ウクライナ紛争の早期解決も先の見えない状況下の為、なかなか難しいのかと思われまます。

以上です。

## ○ 井出法青少年奉仕委員長

植竹年度、青少年奉仕委員長の井出です。

今期委員会メンバーは、副委員長に石山桂子さん、委員に秋間忍さん、鈴木隆子さんの計4名となります。

改めましてよろしくお願ひします。

上半期の活動内容でございますが、黒磯高校IAC活動、及び8月から来日している1年交換留学生ヘイデン君のフォロー活動を行いました。主には、8月12日に「第26回インターアクト年次大会」がZOOM形式で行われましたが、黒磯RC及び黒磯高校IACの方々と参加しました。また、11月14日には、宇都宮にて「インターアクト合同会議」に出席、県内の34校のIACと担当RCが参加し、今年度の活動内容の確認や今後の予定等の協議を行いました。

ヘイデン君に関しては、8月に来日、ROTEX主催のイベント参加に際しての送迎を含め、私自身が一緒に参加することによる県内各RC様との交流や情報交換等をさせていただきました。

下半期についても、前期同様、黒磯高校IAC、及びヘイデン君のフォローを継続していければと思っております。



SAA担当 田中徹SAA



出席報告 黒沢洋一委員



インターアクト地区功労賞授賞式  
(石田・パストガバナーより授与)



インターアクト地区功労賞  
栃木県立黒磯高等学校

12月14日欠席者（敬称略）  
荒井昌一 泉道夫 戸野俊介 和氣勝利  
渡辺裕雄

前回12月7日分メイクアップ(敬称略)  
澤田吉夫 石山桂子 金澤弘子

次回例会（夜間） 令和4年12月21日 クリスマス家族会 担当 親睦委員会

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028  
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105  
○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：秋間忍・村山茂・和氣勝利・瀧田雅仁